

大学評価学会 第三回全国大会

大会テーマ



何のための評価か、誰のための評価か どうする日本の大学

2004年3月28日の設立以降、大学評価学会は「大学評価のあるべき姿」に関する調査・研究を続けてきました。現在、文部科学省主導の「第三者評価」が本格的に進められていますが、評価の現場ではさまざまな混乱が生じています。充分な議論を経ず、上からの拙速な導入が行われた日本の大学評価制度。そこには根元的な疑問が残されたままになっています。何のため、誰のための大学評価なのか.....

大学評価学会第三回全国大会では、「何のための評価か、誰のための評価か どうする日本の大学」という大会テーマに基づき、前東京都立大学総長・茂木俊彦氏、京都橋大学教授・碓井敏正氏、大阪大学助教授・望月太郎氏によるシンポジウムを行います。皆様のご参加をお待ちしております。

<大会プログラム>

3月18日(土) 12:30 ~ 受付開始

- 13:00 年次総会 (聖ペテロ館5階第4会議室)
- 14:30 シンポジウム (聖ペテロ館5階第4会議室)

テーマ「何のための評価か、誰のための評価か どうする日本の大学」

「国民(自治体民)に直接に責任を負う教育のための『改革』」茂木俊彦氏(前東京都立大学総長)

「何のための評価か 哲学の立場から」碓井敏正氏(京都橋大学教授)

「ボローニヤ・プロセス(ヨーロッパ)に見る<基準>の視点から」望月太郎氏(大阪大学助教授)

司会: 橋本勝氏(岡山大学教授)

- 16:20 コメント: 川戸佳代氏(平安女学院大学学生)、北村恭子氏(京都大学学生)
- 16:50 質疑応答(17:50終了)
- 18:00 懇親会 (聖ペテロ館5階第6会議室)

3月19日(日) 9:30 ~ 受付開始

- 10:00 ~ 12:30 <午前分科会> (聖ペテロ館5階第4会議室・第6会議室)

第1分科会: 「評価機関の評価方法・システム」分科会 座長: 水谷勇氏(神戸学院大学)

- ・小山由美氏(日本大学)「国際薬学教育機関の評価認定における多様な学生の尊重と質の保障 日本における薬学教育第三者評価のための予備考察」
- ・重本直利氏(龍谷大学)「『国際基準』からみた日本の評価機関における教員評価方法の特質 その乖離と克服のための課題を探る」

第2分科会: 「学術・研究評価」分科会 座長: 由井浩氏(龍谷大学)

- ・蔵原清人氏(工学院大学)「学術政策の動向と大学改革の課題」
- ・小森田精子氏(元大阪大学)「研究評価 大阪大学の事例」

- 13:30 ~ 16:00 <午後分科会> (聖ペテロ館5階第4会議室・第6会議室)

第3分科会: 「高等教育評価と教育環境の諸問題」分科会 座長: 篠原二郎氏(元日本福祉大学)・中村共一氏(岐阜経済大学)

- ・宮町優子氏(名城大学大学院)「自治としての大学評価 職員・学生の視点から」
- ・馬頭忠治氏(鹿児島国際大学)「私立大学評価の市民基準」

第4分科会: 「大学経営・管理評価」分科会 座長: 守屋貴司氏(奈良産業大学)

- ・金丸裕氏(立命館大学)「私学改革の現代史 2005年度の立命館改革私見」
- ・紀葉子氏(東洋大学)「大学における『健全経営』とは何か 『赤字部門』の縮小・廃止と大学の公共性」
- ・報告者未定(大阪府立大学)「法人化に伴う公立大学改革の検討」(仮題)

- 16:10 総括討論会 (聖ペテロ館5階第4会議室) 17:00 終了

日時: 2006年3月18日(土)・19日(日)

場所: 桃山学院大学・聖ペテロ館5階 (大阪府和泉市)

参加費: 会員1500円、院生等会員1000円(非会員2000円) 懇親会費: 4000円(院生等3000円)

問い合わせ先: 大学評価学会事務局

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67番地 龍谷大学 重本直利研究室気付

TEL: 075-645-8630(重本)・8634(細川) e-mail: a97003as@ryukoku-u.jp